

第1分科会：学生・市民が担うまちづくり「京都学生祭典の取組」

公益財団法人 大学コンソーシアム京都 学生交流事業部

次長 大西 博樹

主査 田中 克哉

1. はじめに

公益財団法人 大学コンソーシアム京都（以下、京都コンソ）は、1994年に、4の公立大学、33の私立大学と京都市等により設立された「京都・大学センター」を前身として、1998年に大学と地域社会及び産業界の連携を強めるとともに大学相互の結びつきを深め、教育研究のさらなる向上とその成果の地域社会・産業界への還元を図るべく設立された全国初の大学コンソーシアムである。その部署のひとつである学生交流事業部では「京都国際学生映画祭事業」「京都学生芸術普及事業」「京都学生祭典事業」の3つの事業を展開している。

今年で第15回目を迎える「京都国際学生映画祭事業」は、京都を中心とした学生が企画・運営を行っている日本最大の国際学生映画祭である。これまでの応募総数は国内外合わせて3,600本を越え、多くの優れた学生作品を発掘・上映してきた。また、さまざまな企画を通して国境や世代を越えた出逢いの場としての役割も果たしてきた。今年もコンペティション部門において、362作品（国内235作品、海外127作品（短編240作品 / 長編122作品））が応募された。

「京都学生芸術普及事業」では、11の各芸術系大学の卒業制作展、進級制作展会、学生の個展など様々な制作展に関する情報の発信や、芸術に関するイベントの開催など京都地域の芸大生の作品や感性に触れる機会をつくる。それによって、京都府民・市民の皆さまに芸術・文化に対する興味・

関心を持っていただき、制作展への来場への促進はもちろん、芸大生の交流の場を増やしたいと考えている。最終的には「芸術のまち京都」としてアーティストを育む土壌を創造することを目指している。

2. 京都学生祭典の発足経緯と目的

京都には約50の大学・短期大学が集まり、歴史的にも「大学都市」として発展を遂げており、人口の約1割に当たる17万人が学生である「大学のまち・学生のまち」でもある。京都学生祭典は、2000年開催の合同学園祭「京都学生フェスティバル」を前身としており、行政・経済界・各大学・地域社会と連携しながら、大学の枠を越えた学生の力を結集させ、その「大学のまち・学生のまち」としての京都の魅力を社会に発信し、それに伴う波及効果をまち全体に創出し、新しい魅力をこのまちに映し出すことを目指している。

3. 運営体制

京都学生祭典は企画立案、運営、宣伝、広報物制作、協賛獲得活動、当日警備などを学生が主体となって取り組む祭りである。2011年度（第9回）には、実行委員として48大学3大学院4専修学校770名、おどり手として19大学3大学院2専修学校875名、みこしの担ぎ手として14大学3大学院2専修学校71名の学生の参加登録があった。

その実行委員会に対して、中心に関わるのが共催団体の京都府、京都市、京都商工会議所、一般社団法人京都経済同友会、

京都コンソの5団体からなる京都学生祭典事務局である。京都学生祭典事務局では事務局会議という学生から提示された案に対しての助言をする会議の開催や、学生の活動支援を目的とした各ネットワークを活かした機関や企業等の紹介や情報の提供を行っている。その中でも京都コンソでは学生の活動に対する連絡・報告の窓口、相談役として学生に対する日常的なサポートを担っている。この京都学生祭典事務局から京都学生祭典企画検討委員会、続いて京都学生祭典組織委員会に学生の提案内容を上程し、よりよい祭典になるよう安全性等の視点から協議をしている。

4. 地域との関わりについて

祭典を支える地域との関わりも深く、夜間パトロール、クリーンアップ活動、打ち水を中心としたエコ活動、開催会場である岡崎地域の納涼祭のお手伝いや活動場所近辺の安寧・梅逕地区のエコサマーフェスタでの企画立案や運営、福祉施設や学校へのおどり披露やおどり出前教室など、地域市民との様々な交流が「地域と一体となった祭典」を盛り上げている。但し、地域と交流をしている学生と地域の方々の層が固定化されているのが現実である。例えば、岡崎地域では新興住宅やマンションが建つ地域でもあり、その住民の皆さまとは十分には学生が交流できていないとの評価もできる。各地域の特性に合った交流方法の策を立てる必要があり、この点は大学教員の研究リソースを活用し、正課授業と課外活動の融合による波及効果を見出す機会となるだろう。

5. 学生のまち京都をリードする学生の育成に向けて

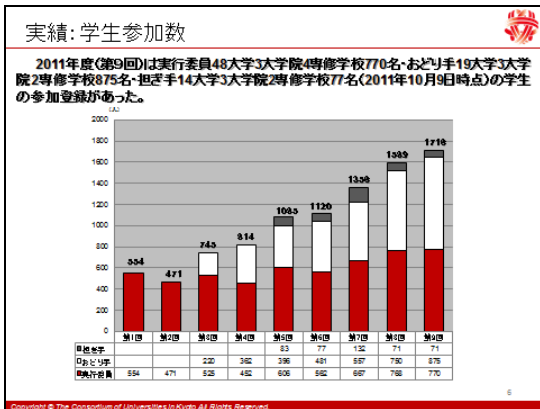
近年、職場や地域社会で多様な人々と仕

事をしていくために必要な基礎的な力として、経済産業省は「社会人基礎力」を打ち出し、文部科学省は若者が「就業力」を身につけるための取組を支援している。それらを受け、各大学でもこれらの能力を学生が修得できるよう、様々な取組を実践している。京都学生祭典も一種のプロジェクトということができ、イベントとしてだけではなく、行政・経済界・大学・地域の連携による学生の「Project Based Learning」⇨「人材育成の場」としていく方針である。その一環として、一般社団法人京都経済同友会や当財団などが主催した「京都学生祭典マネジメント塾」（京都を代表する企業の方々を中心とした講和や教員によるワークショップを実施）や京都コンソによる京大文教大学文化人類学部森正美教授がコーディネートする「振り返り会」（社会人基礎力を測定するシートを用いて、祭典での活動での気づきや学びを認識するワークショップを実施）を本年度から実施する。

6. 京都学生祭典のあり方について

顕彰も含めて、一定の評価を得ている京都学生祭典ではあるが、2012年度で第10回目を迎え、近年になって、「学生たちのやりたいこと、できることばかりが目立つ」「企画についても前年踏襲を前提としたマンネリ化に陥っている」という意見を企画検討委員や経済界から耳にするようになった。そこで、「京都学生祭典パートナーによる期待・支援のあり方ワーキング」を立ち上げ、共催団体と一部の参画大学で議論を交わすに至った。その結論として、①京都の魅力発信 ②地域の活性化 ③学びへの動機づけが京都学生祭典への期待であり、意義であると確認された。

7. おわりに



振り返り会

京大コンソーシアム京都 平成23年度 事務局

WORK1 自己チェック(事前)

目標設定シート

1. 京大の学生生活や学業での目標を設定してください。(1. 継続的達成)

2. 京大の学生生活や学業での目標を設定してください。(2. 継続的達成)

3. 京大の学生生活や学業での目標を設定してください。(3. 継続的達成)

4. 京大の学生生活や学業での目標を設定してください。(4. 継続的達成)

5. 京大の学生生活や学業での目標を設定してください。(5. 継続的達成)

6. 京大の学生生活や学業での目標を設定してください。(6. 継続的達成)

7. 京大の学生生活や学業での目標を設定してください。(7. 継続的達成)

8. 京大の学生生活や学業での目標を設定してください。(8. 継続的達成)

9. 京大の学生生活や学業での目標を設定してください。(9. 継続的達成)

10. 京大の学生生活や学業での目標を設定してください。(10. 継続的達成)

Copyright © The Consortium of Universities in Kyoto All Rights Reserved.

顕彰について

京都学生祭典実行委員会の活動は多岐に渡って高く評価されています。

第1回(平成13年度)顕彰 2002年(平成13年)10月29日
京都府の教育、学術及び文化の振興発展に貢献した団体として、鳥取大学が顕彰に選ばれました。

第2回(平成14年度)顕彰 2003年(平成14年)10月29日
アトピー性皮膚炎において学生による「学生のみよみ」が、京都府の顕彰に選ばれました。

第3回(平成15年度)顕彰 2004年(平成15年)10月29日
真の社会性を発揮し、10周年にむけて京都府の顕彰に選ばれました。

平成16年度(第7回)顕彰 2005年(平成16年)10月29日
地域の個性豊かな魅力を誇らし、往時とは異なり様々な主体が協働して取り組む活動が、京都府の顕彰に選ばれました。

新世紀学生祭典 2008年(平成20年)10月29日
京都府の教育、学術及び文化の振興発展に貢献した団体として、京大に選ばれました。

京の社会に貢献した団体
高層階の社会参加に力を発揮するにも、市民生活の安全・拡大に大きく貢献するものとして選ばれました。

社会福祉活動等委員会の活動又は地域社会に貢献する活動を行い、顕著な功績があったことにより、受賞いたしました。

Copyright © The Consortium of Universities in Kyoto All Rights Reserved.

振り返り会

WORK2 自己チェック(事前: 社会人基礎力)

WORK2 自己チェック(事前: 社会人基礎力)

社会人基礎力 評価シート

1. 社会人基礎力 評価シート

2. 社会人基礎力 評価シート

3. 社会人基礎力 評価シート

4. 社会人基礎力 評価シート

5. 社会人基礎力 評価シート

6. 社会人基礎力 評価シート

7. 社会人基礎力 評価シート

8. 社会人基礎力 評価シート

9. 社会人基礎力 評価シート

10. 社会人基礎力 評価シート

Copyright © The Consortium of Universities in Kyoto All Rights Reserved.

京都学生祭典マネジメント塾

日程	内容・講師
第1回 2月18日(土)	『オリエンテーション/ワークショップ』 杉岡実紀(京都府立大学 公共政策学 専任講師)
第2回 2月25日(土)	『開会の挨拶』 本村光博(京都経済同友会まつり創成プロジェクト委員長)
第3回 3月10日(土)	『京都学生祭典に期待すること』 田辺雅男(京都経済同友会代表幹事、親友会グループ会長)
第4回 3月17日(土)	『ワークショップ』 乾明紀(立命館大学 立命館グローバル・イノベーション研究機構 研究員)
第5回 3月24日(土)	『京都人と京都の心』 池坊由紀氏(京都経済同友会副代表幹事、華道池坊次期宗元)

Copyright © The Consortium of Universities in Kyoto All Rights Reserved.

参考

京都学生祭典

『第10回京都学生祭典公式ホームページ』
<<http://www.kyoto-gastudies.allen.com/>>

『京都学生祭典 Facebook公式ページ』
<<http://www.facebook.com/kyo10/>>

『平成23年度 地域活性化センター / 制作: NPOネットワーキング協会』
<<http://youtu.be/VHBoRkKxTcE>>

京都国際学生映画祭

『第10回京都国際学生映画祭公式ホームページ』
<<http://www.kisf.jp/>>

『京都国際学生映画祭 Facebook公式ページ』
<<https://www.facebook.com/KISFVI/>>

京都学生芸術普及事業 (Arts bar)

『京都学生芸術普及事業 Facebook公式ページ』
<<http://www.facebook.com/ArtsBar2011/>>

公益財団法人 大学コンソーシアム京都 学生交流事業部

今回の報告に関するお問い合わせは <cgk-m@consortium.or.jp>までご連絡ください。

Copyright © The Consortium of Universities in Kyoto All Rights Reserved.

京都学生祭典マネジメント塾

日程	内容・講師
第5回 3月31日(土)	『企業は京都学生祭典をどう見ているか/「広報」のこころ』 平林幸子氏(京都経済同友会幹事、京都中央信用金庫-専任理事)
第6回 4月14日(土)	『人を動かす組織を動かすには何が重要か』 藤田隆之氏(京都経済同友会幹事、京都信用金庫-専任理事)
第7回 4月21日(土)	『経営企業の側から京都学生祭典の10年間を振り返ると』 長田 修氏(京都経済同友会元会長、(株)長年-代表取締役社長)
第8回 4月28日(土)	『報告会』 杉岡実紀(京都府立大学 公共政策学 専任講師) 乾明紀(立命館大学 立命館グローバル・イノベーション研究機構 研究員)

Copyright © The Consortium of Universities in Kyoto All Rights Reserved.